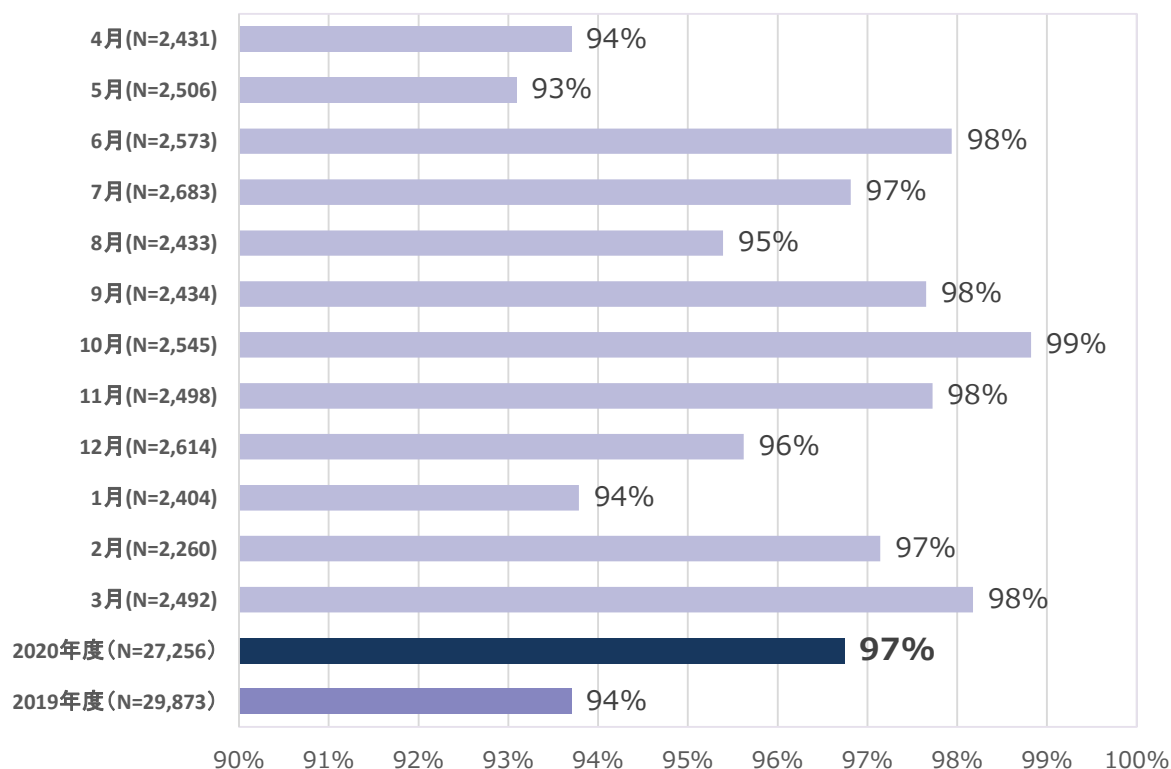


CT、MR検査のうち、検査施行日の翌診療日までの読影実施率

読影料（いわゆる画像管理加算2）を算定するためには、CT、MRIの翌診療日までの読影実施率が80%以上であることが挙げられています。また、日々の診療においても遅滞無く読影レポートを作成し、より迅速に検査結果を主治医にフィードバックしていくことが、画像診断医の責務と考えます。データからは余裕をもってクリアしているように見えますが、読影を先延ばしにすると、どんどん滞っていくため目標として達成することが肝要です。



当院値の定義・算出方法

分子： 検査施行時より24時間以内に読影が確定された症例数

分母： CT、MR全検査数

×100(%)

※グラフ中のN数は分母の値を示しています。

今後の取り組み

IVR等の他の業務とのバランスを取りながら、スタッフ全員がこの指標達成の意義を念頭に置きつつ、日々の読影に努めています。

文責：放射線科主任部長
中山 智博